

義に生きた武将 石田三成

長浜市内を車で抜けると、南東に山々が広がる地域にたどり着く。ここ石田町は、関ヶ原合戦において西軍の中心人物として活躍した石田三成の出生地である。三成の魅力を再発見してもらおうと、今年の五月十四日から十一月三十日まで長浜・米原・彦根の三市が特別企画展「MEET三成展」を開催する。三成の生涯を追うとともに、活動に込められた思いに迫る。

激動の時代を駆けた 滋賀が誇る武将

今年一月から放送がスタートした、NHK大河ドラマ「真田丸」。堺雅人さんが演じる主役の真田信繁（幸村）を筆頭に、戦国時代を生き抜いた人々の人間模様を描く作品だ。大坂夏の陣のあと「日の本一の兵」とたえられた信繁は、豊臣政権期に秀吉の人質だった。その政権を奉行の一人として支えたのが石田三成である。

永禄三（一五六〇）年、現・石田町で産声を上げた三成は、大原観音寺で小姓をしていた時、秀吉に見出されたと伝わる。三杯の異なる

温度の茶を出し、秀吉を感じ入らせた「三献の茶」の逸話である。その後、持ち前の機転で豊臣政権の奉行として手腕を発揮。秀吉第一の側近を務め、厚い信任を得ていた。しかし、慶長三（一五九八）年に秀吉が逝去すると、事態が変化していく。

豊臣政権下において大名間の私婚は禁止されていたが、秀吉の死から間もなく徳川家康が禁を破る。伊達政宗の娘を自身の六男に、福島正則と加藤清正の子にそれぞれ養女を嫁がせる約束をした。大老であった家康は、率先して規律を守らなければならぬ立場にある。喪に服すべき時の勝手な振る

ることを狙いとした。

取り組みは多岐にわたる。今年二月、三成に関するエピソードや県内のゆかりの地などを紹介するポータルサイトを公開した。「真田丸」に絡め、東京では三成役の山本耕史さんを招いたイベントを開催。滋賀県立大学では大河ドラマ制作統括や歴史学者らを招き、講演やパネルディスカッションなどを実施した。

特に注目を浴びたのがPR動画を制作し、インターネット上で配信した「石田三成CM」だ。CMは若い世代を中心に、関心を持ってもらうためのきっかけづくりとして制作。「魅力が伝わる」「印象に残った」などのコメントが寄せられ、三成をモチーフにした内容は反響

舞いを奉じたは咎めるが、家康は逆に正当化するよう迫ったという。秀吉の重臣だった三成には、許したいことであつただろう。

大老の前田利家も家康の動きを警戒していたため、勢力争いは拮抗する。しかし、利家が没し均衡が崩れると家康に加担する清正らは、すぐさま三成襲撃に動いた。事前に情報を得ていた三成は難を逃れたが、仲介を買って出た家康の命のもと奉行を引退し、現・彦根市の佐和山城に戻る。利家の死からわずか一週間の出来事であつた。

攻められてばかりではいられない。三成は、家康の上杉景勝攻めに呼んだ。

三市合同での初の試み 生き様にふれてほしい

市においても、盛り上がりを見せる団体がある。県の事業と連携して観光客の増加に努めていた、びわ湖・近江路観光圏活性化協議会だ。平成二十一年度に五市十三町（合併前）で組織された、びわ湖・近江路観光圏協議会が一昨年に再編成。いまは長浜市・米原市・彦根市の三市を中心に活動している。「ツーリズムEXPOジャパン」へ出展し、甲冑の試着体験や「三成くん」などゆるキャラたちが県や三市の魅力を発信する。

三市合同での初の取り組みも試みた。五月十四日から十一月三十



上)開催中の「MEET三成展」。長浜会場では、「長浜ゆかりの人物パネル展」を実施している。右)情報誌「MEET三成 長浜・米原・彦根」。年一回発行されており、専門家の解説・監修とともに毎回のテーマにあわせて歴史をひもとく内容となっている。左)県と地元企業、有名アーティストがコラボした「石田三成旗印ノート」。30センチほどの旗とミニノートがセットになっている。



「MEET三成展」は三市合同での初の取り組みです。県内外から多くの人に訪れてほしいですね

長浜市産業観光部観光振興課 主事 花澤 翔さん



右)JR長浜駅の東口にある、秀吉と三成の「出逢い」の像。左)八幡神社境内の裏にある、三成公辞世の歌「筑摩江や芦間に灯す かがり火とともに消えゆく わが身なりけり」。神社は石田会館の東に位置する

～滋賀県にまつわる3武将～



嶋左近「三成の盟友」



大谷吉継「三成の盟友」



石田三成

フリモARで
動画をチェック!
「石田三成CM」が
見られます

スマホをかざせば
動画が見える! フリモAR®使用方法

Available on the iPhone
App Store

Available on Google play
Google play

でフリモARを検索

- フリモAR®アプリをダウンロードして起動
- マークがついた写真にカメラをかざすとスキャンがはじまります
※写真の向きにあわせてカメラをかざしてください
- スキャンに成功すると動画がスタート!

Information

MEET三成展
期間/11月30日(水)まで開催中!
※各会場、期間中無休・入場無料
会場(時間)／彦根:開国記念館(8時30分～17時)
※入館は16時30分まで
米原:観音寺本坊(9時～16時30分)
長浜:湖北観光情報センター(9時30分～16時30分)
問い合わせ びわ湖・近江路観光圏活性化協議会
彦根市観光企画課0749-30-6120
米原市商工観光課0749-58-2227
長浜市観光振興課0749-65-6521

【参考文献】
「NHK大河ドラマ真田丸」
「近江が生んだ知将 石田三成」
http://www.nhk.or.jp/sanadamaru/
太田浩司著 サライズ出版
「義に生きたもう一人の武将 石田三成」
三池純正著 宮帯出版社
「三成伝説 現代に残る石田三成の足跡」
オンライン三成会編 サライズ出版

ど、来場者目線での展示づくりが進められてきた。「イベントでPRをする時は、滋賀県の位置から説明しなければなりません。新幹線でののくらかかるかなどを紹介し、身近に感じてもらえるよう工夫しています。まずは滋賀県から知ってもらい、続いて長浜や米原、彦根などの位置を伝えたいですね」と話した。

正義感あふれ、ひたむきに人生を駆けた三成に思いをはせるのかのように、いま滋賀が熱くなっている。県内外での交流を深め、石田三成の魅力は今後も発信し続けていくことだろう。